

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	1年
教科等名		職業		グループ名	1グループ
ねらい		・自分たちができる仕事に興味関心をもち、働く上での必要な知識や技能を身に付ける。 ・働くうえで必要な力について知り、自分の得意、不得意を理解し、実践を通して働く力を養う。 ・将来の社会生活の実現に向けて、いろいろな経験を通して自分の力や知識の幅を広げようとする態度を育てる。			
担当教員		○中村 妙 松永 和也 歳内 文太 岸 みどり 田宮 美貴			
予定授業時数		35			
使用教科書		ひとりだちするための進路学習 あしたへのステップ			
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	・ビジネスマナーを知ろう		・身だしなみや、挨拶、報告・連絡・相談など	・身だしなみの整え方や挨拶の方法知り、実践することができる。	・視覚的な手本を示し、具体的に何をするのか分かりやすく伝える。
	・ワークトレーニング		・軽作業	・ワークトレーニングを通して、報告・連絡・相談について知り、必要に応じて使うことができる。 ・いろいろな軽作業を通して、自分の得意な作業を見つけることができる。 ・一定時間作業を続けられるようになる。 ・丁寧、正確に行うことができる。	・生徒それぞれの課題や実態に合った作業内容を用意する。 ・複数の軽作業を用意する。
4 5 6 7	・どんな仕事があるか知ろう ・進路先見学 ・働くために必要な力を身に付けよう	○	・卒業生の進路先 ・身近な事業所の場所、仕事内容 ・進路先見学、事前・事後学習 ・目標設定	・就労先にはどんな所があり、どんな仕事をしているのか理解する。 ・進路先の具体的な仕事内容を知り、将来の自分の仕事について考えることができる。 ・軽作業や作業学習を通して、身だしなみ、挨拶、報告、連絡、相談などの仕事に必要な基本的な力を知り、できることを一つずつ増やすことができる。	・事業所の仕事内容を紹介する。 ・先輩の事例を挙げるなどして、仕事の内容を具体的に示す。 ・生徒の実態に応じて、カードや見本を示し、意識を高め、定着を図る。
9 10 11 12	・現場実習について知ろう ・働く意識をもとう	○	・壮行会、報告会など ・1学期の振り返りと2学期の目標設定	・先輩の発表を見て、色々な事業所があること、色々な仕事があることを知る。 ・軽作業や作業学習を通して、身だしなみ、挨拶、報告、連絡、相談などの1学期にできなかった部分を知り、さらにできることを増やすことができる。	・映像資料を活用して、企業、事業所の具体的なイメージをもたせる。 ・生徒の実態に応じて、カードや見本を示し、意識を高め、定着を図る。
1 2 3	・インターンシップを頑張ろう ・卒業生の話を聞こう ・1年生の振り返り	○ ○	・インターンシップ ・事前・事後学習 ・目標設定 ・課題把握 ・卒業式の話聞く会 ・1年間のまとめ ・2年生の学習について	・インターンシップの意義について、確認する。 ・自分の課題を考えて、目標を作ることができる。 ・報告会で、自分が頑張ったことなどの成果を発表し、これからの授業への意欲を高めることができる。 ・先輩の進路先を知ることができる。 ・先輩への質問を考えることができる。 ・卒業生の進路先を調べることができる。 ・どんな生活をしているのか考えることができる。 ・1年生の学習を振り返り、学んだことを確認することができる。 ・2年生の学習に向け、意欲を高める。	・インターンシップ先を調べたり、通勤ルートを確認したりして、インターンシップへの意識を高める。 ・具体的な目標を立てるよう促す。 ・タブレット端末を使用する。 ・どんな質問があるか、いくつか提示する。 ・プリントをファイリングする。 ・ワークシートを使用する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	1年
教科等名		職業		グループ名	2グループ
ねらい		・産業現場等における実習への参加に向けて、職業生活に係る基本的な技能を身に付ける。 ・産業現場等における実習への参加を通じて、自らの課題を知り、改善しようとする力を養う。 ・産業現場等における実習への参加や日々の生活を営む中で、正しい生活習慣が分かり、実践しようとする態度を養う。			
担当教員		○粕谷 裕之 松永 和也 廣野 あやめ			
予定授業時数		35			
使用教科書		ひとりだちするための進路学習 あしたへのステップ			
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	ビジネスマナーを知ろう		・挨拶、報告、相談 ・清潔と身だしなみ ・ルールやマナー	・相手に伝わる挨拶、報告、相談の仕方を身に付ける。 ・清潔を意識し、身だしなみを整えることができる。 ・ルールやマナーの必要性を理解する。	・チェック表や視覚的な手本を示し、継続的な取り組みを通して定着を図る。
4 7	・オリエンテーション ・自分について知ろう ・進路先見学 ・壮行会、報告会へ参加しよう	○	・1年間の進路行事 ・自己理解 ・進路先見学 ・進路先見学事前事後学習 ・壮行会、報告会	・1年間の見通しをもつことができる。 ・自分のことを客観的に判断し、自己の課題を知ることができる。 ・相手に伝わる表現力を身に付け、主体的に発表することができる。 ・進路先について知り、就労に必要な知識や心得を学び、就労意欲を高めることができる。 ・先輩の発表を聞き、インターンシップのイメージをもてるようにする。	・模範を示し発表しやすい雰囲気にする。 ・他者の評価も参考にできるようにする。
9 11	・働くために必要な力を身に付けよう(仕事について知ろう) ・働く意識をもとう ・壮行会、報告会へ参加しよう	○	・進路先の種類と身近な事業所 ・進路先ごとで求められる力 ・働く理由と意識をもつ ・壮行会、報告会	・就労先の種類が分かり、それぞれの仕事に興味をもつ。 ・各進路先で求められる力を理解し、実践することができる。 ・メモを取る、報告、連絡、相談などの仕事に必要な基礎的な力を身に付けることができる。 ・働く意義を考え、将来の進路について考えることができる。 ・先輩の発表を聞き、インターンシップのイメージをもてるようにする。	・映像などの視覚的な教材を活用し、具体的なイメージをもてるようにする。 ・先輩の事例を参考にできるようにする。
12 3	・インターンシップに向けて ・壮行会、報告会へ参加しよう ・卒業生の話を聞く会 ・1年間のまとめをしよう	○	・インターンシップ事前事後学習 ・壮行会、報告会 ・卒業後の就労や生活について(一日の流れや学生との違い) ・1年間の学習の振り返りと2年生に向けた準備	・自身の課題を考え、主体的に目標を設定することができる。 ・インターンシップ先の情報を調べ、準備をする ・目標を発表し、インターンシップへの意欲を高めることができる。 ・成果を発表し、次のインターンシップへの課題の整理を行うことができる。 ・卒業生の話を聞いて、学生と社会人の違いを理解することができる。 ・1年生の学習を振り返る。 ・2年生の学習に向け意欲を高める。	・自身の課題が明確になるよう、「評価表」をもとに振り返りを行う。 ・インターンシップの体験を共有することで、興味、関心や進路選択の幅を広げられるようにする。 ・聞き取るポイントをあらかじめ示す。 ・1年間の資料の活用や2年次の予定を確認できるようにする。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。